

放課後等デイサービス事業所における自己評価表

公表：令和 5 年 2 月 20 日

放課後等デイサービス 笑光

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切である。	○			
	②	職員の配置数は適切である。	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている。	○		車椅子にも対応できるように可動式のスロープとトイレに手すりを設置している。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画している。	○		毎週火曜日はカンファレンスを行い、不測の事態が起きた場合はその都度話し合いをしている。しかし、運転手の参加ができていない状況である。	職員全体での共通理解の方法を検討していく。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	○		ホームページに掲載している。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。		○		労務士に相談中
適切な支援の提供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	○		長期休暇以外の月は毎月行っている	
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや改題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	○		課題の整理票を用いて職員間で情報を共有している。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている。	○		課題の整理票を基に全職員にて意見を出し合いながら計画を立案している。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫している。	○		定期的に評価をして計画の修正を行っている。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて課題をきめ細やかに設定して支援している。	○		長期休暇の際に、平日把握しきれない学習面や生活面を確認したり、野外活動を取り入れている。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している。	○			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
	⑮ 支援終了開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認している。	○			
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している。	○			
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている。	○			
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見通しの必要性を判断している。	○			
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている。	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳ 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	○		可能な限り代表と管理責任者が参加している。困難な場合はどちらかが参加するようにしている。	療育中の時間帯に担当者会議が開催されることがあり、文書による参加となることが数件あった。今後は職員の増員など行い参加できるように努力する。
	㉑ 学校との情報共有（年間計画、行事予定などの交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	○			
	㉒ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	○			
	㉓ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している。	○			該当する利用者がいらっしやいましたら対応していく。
	㉔ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	○			
	㉕ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある。	○		夏休みに他の放デイとの交流会を計画していたが、コロナにより中止となった。また、鹿屋体育大学の学生の実習やボランティアを積極的に受け入れている。	
	㉖ （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している。	○		オンラインにて参加し、伝達講習会を行っている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
	②7 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	○		送迎時やLINE、インスタなどにて様子はお伝えしている。また、今年度の面談月間では15名の保護者が利用してくださった。	
	②8 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている。	○		職員間にて勉強会を行っている。	保護者が相談しやすい関係作りに努め、子どもの為により良い方法を一緒に考えていきたい。
	②9 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	○		契約時に説明を行っている。	
保護者への説明責任	③0 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	○			
	③1 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。		○		2月23日に発表会を行う予定である。その際に保護者間の交流を深めることができたらと考えている。
	③2 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している。	○		マニュアルを作成しており、それに基づいて対応している。苦情に関しては報告書を作成している。	
	③3 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	○		利用申し込み票に行事予定や「笑光のつぶやき」等情報を掲載している。	
	③4 個人情報に十分注意している。	○		入職時に守秘義務についての説明と誓約書を書いてもらっている。	
	③5 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	○			
	③6 事業者の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。		○	守秘義務などの観点からこちらから積極的には招待していない。	
	③7 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している。		○		2月23日の発表会の時間をお借りして説明する。
③8 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	○		マニュアルに従い、5月に避難訓練を行っている。	訓練の様子を参加できていない利用者にお伝えしていく。	

非常時などの対応	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標	
	③⑨	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしている。	○		マニュアルに従い定期的に行っている	
	④⑩	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載している。		○	いかなる状況でも身体拘束は行わない方針である。痙攣や自傷、他傷がある際は別室で対応するも必ずスタッフが同席して見守るようにしている。	身体拘束の規定を先性している。定期的に勉強会を行っている。
	④⑪	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされている。	○			指示書の提示はしていませんが、利用開始の際に必ず確認をしています。
	④⑫	ヒアリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	○			

令和5年1月実施